

情報を先取り、タブーに挑戦

財界タブー

特集 5区補選、あるぞ 3月号 2016年 衆参ダブル選 徹底取材! 全32ページ

自民・和田義明、民主・池田真紀の不安材料 / 道内衆院全区`最新情勢、/
稲田朋美、細野豪志、自・民ダブル政調会長インタビュー ほか

女子サッカー ついに元選手が声を上げた「ノルディーア北海道」強制わいせつ事件

3月末閉鎖!どうなる月寒・グリーンドーム(札幌)

NHKが7割所有「さっぽろテレビ塔」耐震改修、気になる費用負担
本田満dec理事 北海道開発局・道路一家`OBの暗闘、
長らに交代論 発起人は武部勤 モンゴル、ベトナムとの交流組織が発足

特集 21年目の挑戦 コンサドレ カラー44ページ



岡田武史元監督、稲本潤一インタビュー / チーム草創期のマル秘裏話 / OBの近況、選手行きつけの店を大公開

◎「業界ナンバーワン」のトップが語る 正しい探偵の選び方

「証拠のとれる調査会社」として規模、実績ともに「業界ナンバーワン」と称される「原一探偵事務所」（埼玉県川越市）。創業以来、高度な調査技術の研究・開発で業界をリードし続ける。そんな大原一泰社長に「正しい探偵の選び方」を聞いた。

月間の問い合わせ数は2000件超

——調査業の中でも、いわゆる「探偵」といわれる業者数は、全国にどれくらいあるのですか。

大原 警察庁のまとめで2014年末現在の届出数は5688。うち個人は4192、法人は1496となっています。

——その中で原一探偵事務所は「業界ナンバーワン」



原一探偵事務所
の大原一泰社長

起きました。その後、探偵事務所を個人で始め、2年後に法人化。現在44年目になります。

——どうして探偵を。

大原 起業はしましたが、メーカーの下請け。なかなか展望が開けなかった。訪問販売ですから、いろいろな家庭にうかがいます。ご最前さまもできて、悩みなどを打ち明けられることも

多くなりました。聞いてしまえば何とかしてあげたいと思うのが人情です。それなら探偵がいいだろうと思って始めたのです。

——それがいまや全国に支社を展開している。

大原 2月2日に水戸支店を開設しましたので、現在全国に18拠点となりました。探偵といえば小さな間口でやるイメージがありますが、私は早くから企業化を考えていた。依頼に対して機動的に動ける体制をつくるには会社組織にするしかありませんからね。

——従業員は。

大原 全体で150人。この業界は、規模が大きく見える探偵社でも、調査は

うした対外的評価になっていくのだと思います。

——創業は。

大原 1974年です。私はもともと西武鉄道の電車の運転士。21歳で辞めて化粧品品の訪問販売の会社を

大原 起業はしましたが、

メーカーの下請け。なかなか展望が開けなかった。訪問販売ですから、いろいろな家庭にうかがいます。ご最前さまもできて、悩みなどを打ち明けられることも

せん。ですから人材教育にも力を注いできました。それこそ電話の応対から厳しく指導します。調査は決して一方通行のものではありません。依頼者と調査会社との信頼関係があつて成り立つものなのです。

一方で、そう何度も探偵を利用する人はいませんから、どうせ1回きりの客だから、そこで儲けてしまえばいい」と考える業者もいます。残念ながら後者が大半です。だから探偵業はうさん臭いと思われる。

私は創業以来、探偵業を早く世の中に認められる業種にしたいという気持ちでやっています。03年に当社が主導して、わが国初の内閣総理大臣認可組織「全国調査業協同組合」（全調協）を設立したのもその一環です。いまその会長を当社の副社長が務めています。

——いい探偵社、悪い探偵社を見分けるには。

大原 正しい探偵の選び方5カ条を紹介しましょう。
第1条、探偵業届出証明番号があるか。これがなければ、そもそも法律上の探偵社ではありません。第2条、全調協などの業界団体に加盟しているか。頻繁に依頼者とトラブルを起しているような業者は加入できません。第3条、実際に電話してみても感じの悪いところは避ける。探偵は特殊だとは考えず、一般常識に照らして違和感のある業者は避けたほうが無難です。第4条、実際に事務所があるのか確認する。グループマップなどで調べ、探せなければ候補から外したほうがいいでしょう。第5条、キャンセル料の確認。これはキャンセル前提ではないですが、その料金が法外な場合、他の部分でも採めることが多いです。これらのことを念頭に選んでください。（ききて・鈴木）

実弟の大原健治氏(右)は原一探偵事務所の副社長を務める



下請けに丸投げというところも少なくありません。当社は、正社員を雇わないと組織力にならないと考えます。ですから150人全員正社員です。おそらく業界で唯一でしょう。

そのほかに20年くらい前から、当社で5年以上経験を積んだ優秀な人間は独立させています。もちろん本人が独立を希望し、かつ幹部会議でこの人間なら大丈夫だと認められた者に限りです。そうした人間が数十人いて、彼らには手伝ってもらうこともある。法人は違うけども原一の人間がやるといふことです。依頼に対しての全責任は当社が持

つわけですから。
——それも合わせると。
大原 約250人です。
——札幌にも支店が。
大原 2007年に開設しました。現在の事務所が手狭になったので、近く移転する予定です。それに伴い現状の15人体制から18人くらいに強化したい。

——年間の依頼数は。
大原 月間の問い合わせが全国で2000件を超えます。うち扱う件数は350〜400件くらい。

——北海道の実績は。
大原 月の取り扱い件数でいえば20〜30件くらい。依頼が多いときは本社から応援にきます。

——得意分野は。
大原 技術を要する人探しと尾行調査です。
——多い案件は。
大原 やはり不貞調査で全体の6割強を占めます。そのほか、家出人、いじめ、ストーカーなどの調査です。

また、役員の素行調査も多い。名の通った企業からの依頼も結構あります。

日本初の内閣総理大臣認可組織設立

——一般の人が探偵社に足を運ぶというのは勇気がいります。やはり支払う金額がいくらになるのか見当が付きません。

大原 当社は「すべては依頼者の悩みごと解決のために」というのが信条です。常に独自の調査方法の研究・開発をおこない、同時にハイテク機器の導入や応用開発にも積極的に取り組んでいます。当社の調査技術の確かさは、こうした長年における努力の積み重ねで成り立っているのです。

しかし、いくら最新の調査機器や高度な調査技術を持つていても、人の根本にある「心」が伴わなければ満足な調査結果は得られません。